

## 東京理科大学天文研究部の観測計画

足立 潔 史

東京理科大学天文研究部OB会では、1973年のアフリカ日食、1976年のオーストラリア日食に続いて3回目の海外日食観測隊遠征を計画している。今回はアフリカ及びインドにも同時に観測隊を派遣し、アフリカからインドに至る日食の経過中約2時間にコロナの微細構造がどのように変化するかを観測の主題として取り上げる。

以下に計画の概要を記す。

### アフリカ観測隊

- 〔コーディネーター〕 佐々木 勝 浩  
(国立科学博物館技官)
- 〔観測地〕 ケニア、ボイ近辺
- 〔日 程〕 2月10日～ 2月22日(12日間)
- 〔費用〕 ￥615,000
- 〔募集人員〕 25名程度
- 〔その他〕 ボイには4日間滞在し、機材の準備に万全を期す。  
観測後はサファリ・ツアーの予定

### インド観測隊

- 〔コーディネーター〕 足立 潔 史  
(日食情報センター)
- 〔観測地〕 インド、ライチ ヌア近辺
- 〔日 程〕 2月12日～ 2月22日(10日間)
- 〔費用〕 ￥345,000
- 〔募集人員〕 25名程度
- 〔その他〕 ライチ ヌアには4日間滞在し、機材の準備に万全を期す。  
観測後はヒマラヤのマウンテン・ツアーの予定

計画内容の詳細についての問い合わせは

足立 潔 史